

どうする？複数の用地の活用は？

伊川議員

(1) 親和銀行跡地の活用について

市民交流プラザと市営アパートからなる12階建の複合施設を建設するということが、前回までの説明とは大きく違う。駐車場も絶対的に不足すると考えられ、立体式ではメンテナンス面など課題も多い。用地の活用について、商店街や市民の意見の集約も含め、今後どのようにして決めているのか。

(2) 入国管理センター跡地の活用と総合運動公園について

市長(1) 2核1モールという形で市街地再開発に取り組む中で、親和銀行跡地は非常に大事な場所になる。市民交流プラザについては、意見を聞くために市としての方向性を示したものである。この中で特に申し上げたいのは、市内に散在している老朽化した木造平家の市営住宅など土地の有効利用という観点があること。また、全国で高齢者に関

いて

入国管理センター跡地について全員協議会に示された計画では、半分はサッカー専用で残りは多目的スポーツ広場だったが、議論の結果、全面を何にでも使える多目的広場とするという説明で終わった。スポーツ施設については百億円にものぼる総合運動公園の事業も進行中だが、市長の発言が議会ごとに変わる。スポーツ施設を総合的に判断する視点が欠けていると思うがどう考えているか。

する様々な問題が起きていくが、高齢者の安全性の問題や街なかでの居住生活がこれから非常に大事になることから病院や買物も歩いて行くことができ、車なしで生活できるといったように高齢者に配慮したものにするというところである。これは21世紀の一つの方向だと思ふ。大村市がこれを行うことによって、新しい都市モデルになると確信

している。今後、平成23年度に設計し、順次進めていくが、これまでに行った市民アンケートを十分精査するとともに、意見交換会を行うなど議会や周辺住民をはじめとする市民の声をよく聞きながらやっていく。

副市長(1)

駐車場がこれだけ十分なのかという懸念はある。立体駐車場は一つの例であり、その周辺の活用も含めた駐車場の確保について考えていきたい。

市長(2)

生涯スポーツのまちにしていくためには、全体的な未来図が必要であり、大型施設とともにそれぞれの地域で気軽にスポーツができるようにしていかなければならない。ご指摘のとおり、全体を見渡し、コーディネートしていく取り組みがこれまでやや欠けていたということを反省している。これからは、全体像を考慮しながら調整していきたい。

(その他の質問事項)

- ・ 学校図書館に専任司書を空き家バンク
- ・ 高齢者の見守り
- ・ 市営住宅の入居

地場産業振興について
市職員採用のあり方、電話対応のあり方

中瀬議員

(1) 商工行政について

企業誘致は必要だが、地場産業の育成も地域に根付いた雇用の場として大事である。昨年度の決算を見ると、企業への市の融資制度の利用が減少している。中小企業振興事業の補助件数はゼロである。現実には融資を受けた企業があるのにそれが使われていないのはなぜか？また、補助金はいらぬが利子なしで

(2) 総務行政について

職員採用について、あらゆる職種においてもそのあり方を検討してはどうか。また、非正規職員の正規職員への登用または契約期間の見直しを含めて検討すべきでは？電話対応など、非正規職員の他の職場での経験は役人の目線を民間並みに変えるには役立つか。

商工観光部長(1)

市の融資制度の利用減少は、県が緊急資金として、期間限定で昨年11月から中小企業経営緊急安定化対策資金の取り扱いを開始し、その融資利率が1・8%で、市の融資制度の1・9%より有利となっているためである。地場産業の支援としては、平成20年度から21年度にかけて延べ137件の事業所を訪問し、様々な相談に乗り、また各種制度の紹介を行っている。今後も、積極的に情報提供を行

市長(2)

う。

行財政改革を進める中、人件費の抑制も重要な課題であった。そういう中で、平成18年度から3年間にわたり、人員削減のため、行政や一般事務の職員採用を凍結したが、大村市の未来を担う若い優秀な人材の採用は不可欠であり、活力ある市政を維持するためにも、年齢構成の偏りはできるだけ是正していくことが必要であることから、昨年度から行政や一般事務の採用を再開した

ところである。

総務部長(2)

職員の採用については、地方公務員法において、受験成績その他能力の実証に基づいて行わなければならない、競争試験または選考によるものとすると規定されている。競争試験も選考も客観的な職務遂行能力の有無の判断が必要とされ、その判断は裁量によって左右されることは許されない。臨時職員は、雇用期間を定めた採用であり、競争試験や選考は必要なく、ある一定の基礎的能力を有していれば、必要な場合に採用している。競争試験や選考を経ない臨時職員の正規職員への採用は、法に照らしても適切ではなく、また、市民からも縁故採用等の誤解を生じさせかねないことから、正規職員を採用する場合は、これまで同様、競争試験の合格者を採用していく方針である。

(その他の質問事項)

- ・ 水資源を取り巻く農林水産業のあり方
- ・ 男女共同参画社会